

平成 18 年 9 月 11 日

## 定期検査中の 2 号機における警報の発生について

当所 2 号機は、平成 18 年 9 月 4 日より第 22 回定期検査中ですが、9 月 8 日午後 4 時 24 分、中央操作室において、「A 系原子炉自動スクラム\*<sup>1</sup>」の警報が発生いたしました。

調査の結果、放射線モニタ点検のための安全処置\*<sup>2</sup>を実施しておりましたが、別の作業において赤色警報発生防止のために取り付けられていた安全処置のケーブルに誤って体が触れた際に、当該ケーブルが外れ警報が発生したものと推定いたしました。

対策として、当該ケーブルが外れやすいタイプ（わに口）であったことから、赤色警報の発生に至る回路については、安全処置に使用するケーブルを外れにくいタイプに順次変更いたします。

また、本事例を関係者に周知し、再発防止に努めてまいります。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* 1 A 系原子炉自動スクラム

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号は A・B 両系が同時に発生することで全制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

### \* 2 安全処置

設備の点検を行う際に、設備の安全などを確保するために行う処置。